

YA21622

年度	配当	区分	科目名	担当教員	回数	単位
2021	後期	発展	相続税法	田地野稔雄	15	2

## 授業の目的

職業会計人として必要な相続税法に関する幅広い知識の修得を目的とする。各回の授業においては、原則として、前半は民法上の相続制度を理解したうえで相続税・贈与税の基本的な考え方について学修し、後半は授業内容に沿った裁判例を取り上げ、現代社会における相続税法執行上の諸問題について考察することにより、専門的知識と問題解決能力の修得を目指す。

## 授業の到達目標

相続税法の考え方を体系的に理解するとともに税制上の問題点を考察することによって、実社会における種々の相続・贈与案件に対処できる問題解決能力を身に付ける。

## 履修条件

相続税・贈与税に興味があり、基本的な考え方から裁判例まで広範囲にわたって学修する意欲があること。

## 授業計画

回	授業内容	日程
1	<b>【相続税法総説】</b> 相続税と贈与税の概要について理解する。相続税・贈与税が持つ機能や課税方式を理解し、それぞれの税がもつ意義を修得する。	10月1日(金) ⑤19:30-21:00
2	<b>【納税義務者と課税財産の範囲】</b> 相続税と贈与税の納税義務者がどのように区分され、その区分に基づいていかなる財産が課税対象とされるのかについて学修する。さらに財産の所在地についても修得する。	10月8日(金) ⑤19:30-21:00
3	<b>【相続税の課税原因と計算手順】</b> 相続の開始から改正民法に基づく法定相続分や相続の承認と放棄、並びに遺贈と死因贈与について学修する。さらに相続税の計算手順についても修得する。	10月15日(金) ⑤19:30-21:00
4	<b>【相続税の課税財産】</b> 相続財産の意義を理解し、次いで「本来の相続財産」、「みなし相続財産」及び相続税の課税対象とされるその他の財産について学修する。	10月22日(金) ⑤19:30-21:00
5	<b>【相続税の非課税財産】</b> 相続税の非課税財産にはどのようなものがあるのか理解するとともに、なぜそれぞれの資産が非課税とされているのかについて学修する。	10月29日(金) ⑤19:30-21:00
6	<b>【相続税の課税価格の計算】</b> 相続税の課税価格の計算について、遺産分割が確定している場合と未分割の場合に分けてみていく。さらに小規模宅地等の課税価格の計算の特例についても学修する。	11月5日(金) ⑤19:30-21:00
7	<b>【遺産に係る基礎控除額と相続税の総額】</b> 相続税の課税最低限である「遺産に係る基礎控除額」を理解したのち、相続税の総額の計算方法について具体例を挙げてみていく。	11月12日(金) ⑤19:30-21:00
8	<b>【各相続人の相続税額】</b> 各相続人の相続税額の計算方法について学修する。具体的には、「配偶者の税額軽減」や「未成年者控除」、「障害者控除」などについて個別にみていく。	11月19日(金) ⑤19:30-21:00
9	<b>【贈与税の課税原因と課税財産】</b> 贈与税の課税原因を理解したのち、課税対象とされる「本来の贈与財産」、「みなし贈与財産」に加え、法人から贈与を受けた財産などの非課税財産について学修する。	11月26日(金) ⑤19:30-21:00
10	<b>【贈与税の課税価格と税額の計算】</b> 贈与税の課税価格の計算、基礎控除及び配偶者控除について学修したのち、贈与税の税率と税額の計算方法について修得する。	12月3日(金) ⑤19:30-21:00
11	<b>【相続時精算課税制度】</b> 相続時精算課税制度の意義や仕組みを理解するとともに、本制度における贈与税額と相続税額の計算方法について学修する。	12月10日(金) ⑤19:30-21:00
12	<b>【相続税と贈与税の申告・納付】</b>	12月17日(金)

	相続税と贈与税の申告について学修するとともに、連帯納付義務や物納、延納など納付についても修得する。	⑤19:30-21:00
13	【相続税と贈与税の納税猶予及び免除の特例】 農地、非上場株式及び個人の事業用資産などに係る相続税と贈与税の納税猶予及び免除の特例について学修する。	1月7日(金) ⑤19:30-21:00
14	【財産の評価①（評価の原則・法定評価）】 財産評価の原則である時価主義の意義や課税時期について学修するとともに、地上権や永小作権などに係る法定評価について修得する。	1月14日(金) ⑤19:30-21:00
15	【財産の評価②（時価評価の取扱い）】 財産評価についての課税実務上の解釈指針である「財産評価基本通達」の主旨を理解し、土地や家屋などに係る時価評価の取扱いについて学修する。	1月21日(金) ⑤19:30-21:00
試験	レポート	

## 使用教科書／評価方法等

教科書	特に使用せず、レジュメを配付する。
参考書	『裁判例からみる相続税法(四訂版)』池本征男・酒井克彦著 大蔵財務協会 2021年 『租税法(第23版)』金子宏著 弘文堂 2019年 (新版発刊されればそれによる)
評価方法	課題レポート70%、出席を含む授業への貢献度など30%
その他	授業の内容は、進度などに応じて変わることがある。